

＜参考資料＞

① 市民アンケート（R4.8実施）の概要

市内在住の聴覚障がいのある人のうち46人に送付

回答者：28人（回答率61%）

○回答者の年齢

1	18歳未満	3
2	18歳以上30歳未満	0
3	30歳代	3
4	40歳代	2
5	50歳代	8
6	60歳以上	12

○同居者の健聴者（聴覚障がいがない人）の有無

1	健聴者の同居者がいる	18
2	健聴者の同居者がいない	10

問6 身近に手話ができる人の有無

1	いる	7
2	いない	21

○ コミュニケーションで困っている場所や場面（複数回答）

1	お店	15
2	役所など公共機関での説明	14
3	公共交通機関	11
4	レジャー施設等	6
5	学校の授業や懇談会	2
6	医療機関の説明	15
7	職場の指示など	7
8	自治会活動やPTAなど地域活動	5
9	災害時の避難所案内やアナウンス	15
10	110番、119番などの緊急ダイヤル	9
11	コミュニケーションできる人がいない	2
12	手話通訳者がいない	6
13	筆談・手話での対応を拒否された	4
14	その他	2

**○日常的な情報の入手方法（複数回答）**

1	一般図書・新聞・チラシ・雑誌	20
2	パソコン（インターネット含む）	7
3	スマートフォン・タブレット端末	16
4	ファックス	4
5	テレビ（一般放送）	23
6	手話放送・文字放送	7
7	家族・友人・介助者	15
8	その他の方法により入手している	1
9	利用したいが、利用できない	0
10	利用していない	1

**○手話を使ってコミュニケーションができるかどうか**

1	できる	10
2	まあまあできる	6
3	少しできる。	3
4	できない	9

**○手話を使って会話をする相手（複数回答）**

1	家族	7
2	友人	14
3	職場の人	1
4	その他	3

○泉大津市手話通訳者派遣事業を利用したことの有無

1	ある	8
2	ない	11

「2」「ない」人→利用しなかった理由（複数回答）

1	手話通訳が必要ない	4
2	家族に頼んでいる	1
3	友人に頼んでいる	0
4	手話通訳者派遣事業を知らなかった	4
5	その他	4

○ 手話の理解・普及に必要と思うもの（複数回答）

1	一般的に手話を学ぶ機会	12
2	学校で子どもたちが手話を学ぶ機会	6
3	市民への理解啓発	9
4	事業者・医療機関者などへの理解啓発	12
5	行政の理解	4
6	その他	1

## ② アンケート内の自由記載およびヒアリングで聴き取られた主な意見

### 1. 困っていること

- ・ 病院で通訳者がいないこと。
- ・ 電車が止まった時にアナウンスが聞こえないため理由がわからないこと。
- ・ 災害時避難所でアナウンスがあってもわからない。
- ・ スーパーに行ったときに店員がマスクをしているので口話が読み取れない。

### 2. 地域での生活やコミュニケーションに関するのねがいなど

- ・ ろう者が生活でどのようなときに何で困っているのかを知っていただけるとありがたい。
- ・ 市内で手話を使ってコミュニケーションができる人に出会いたい。
- ・ 手話で話しかけられるとうれしい。
- ・ 身近に手話を必要とする当事者と学びたい人が集まれる場所が欲しい。